

Demoスタータープログラム

作成 2026-08-26

1. はじめに

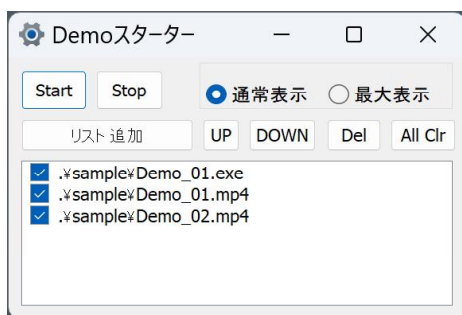
このプログラムはデモ/プレゼン環境のために用意したプログラム群のスターター(ランチャー)です。登録リストのプログラム群は順番に起動を進めます。そして、デモ環境のために繰り返し実行します。必要条件是以下の2点です。

- ・登録するプログラムは自己終了できる必要があります。(自分自身のウインドウを閉じる)
- ・動画ファイルのプレーヤーは再生後閉じる設定が可能なプレーヤーを使用します。
(動作確認済み Player : VLC media player, MPC-BE)

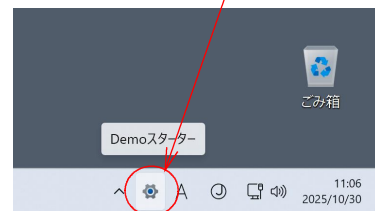
2. プログラムの起動・終了

プログラムが起動すると、スターター設定画面が表示し、タスクトレイにアイコンが登録されます。

【スターター設定画面】

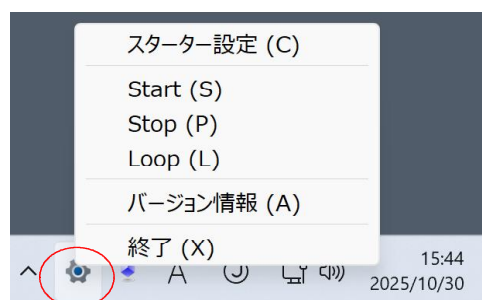


【アイコン】



通常の操作は、設定完了後、タスクトレイアイコンのコンテキストメニューから操作します。

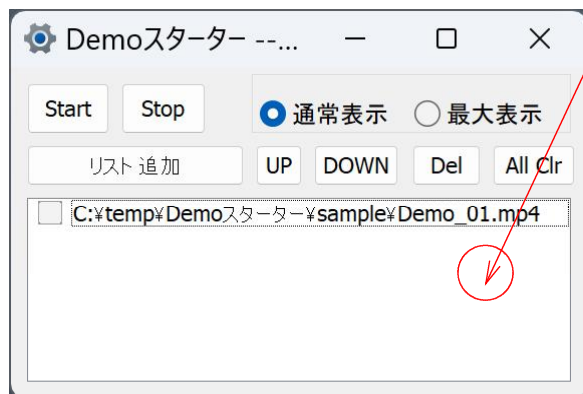
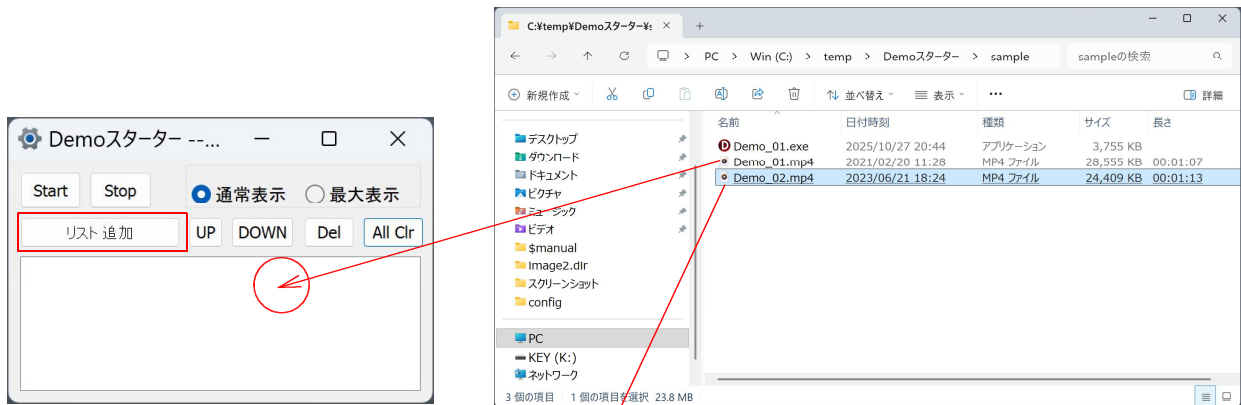
【コンテキストメニュー】



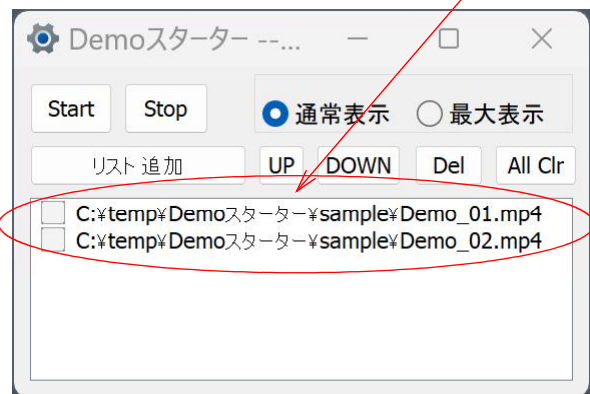
プログラムの終了は、コンテキストメニューから「終了(X)」を選択するか、スターター設定画面の [×] のクリックで終了します。なお、デモの実行中は「Stop(P)」を先に行ってデモ実行中プログラムを停止します。

3. プログラムの登録

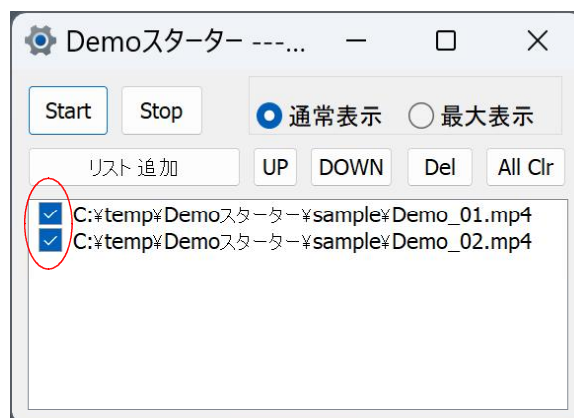
リスト追加ボタンをクリックしてプログラムあるいは動画ファイルを読み込むか、エクスプローラーを使ってファイルを直接ドラッグ&ドロップします。



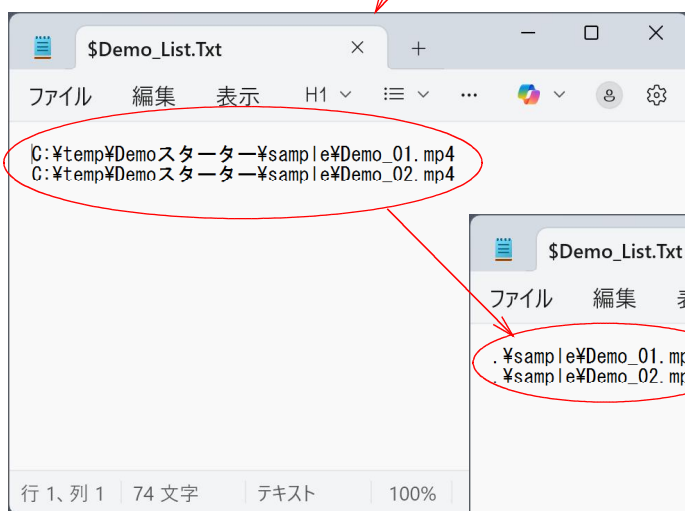
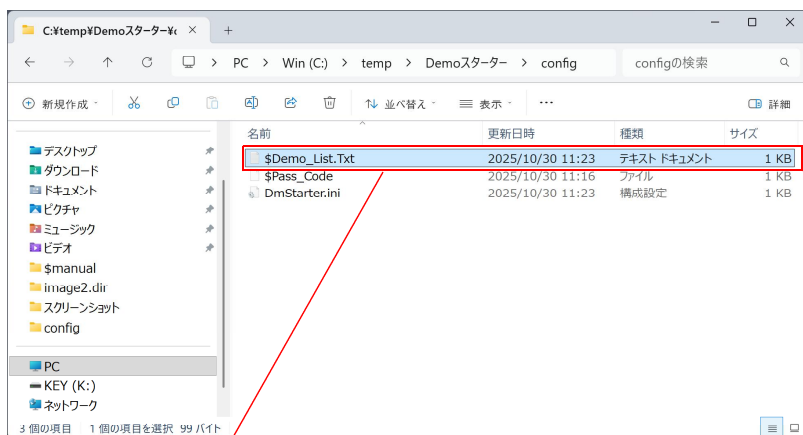
リストにファイルが登録されます



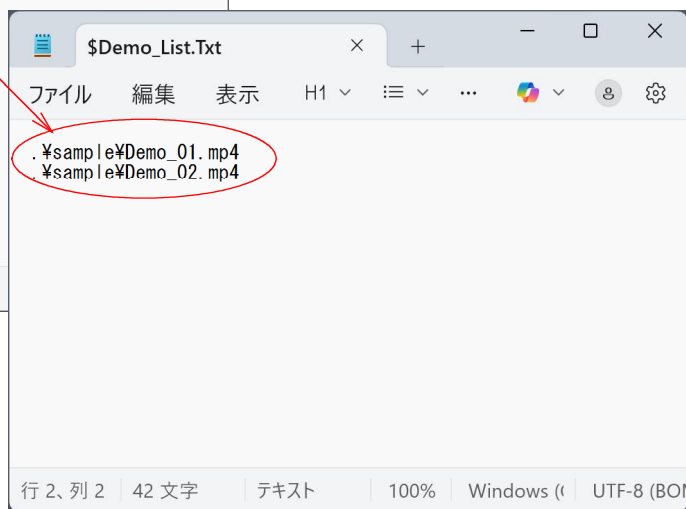
チェックしたファイルが有効になり、起動されます。



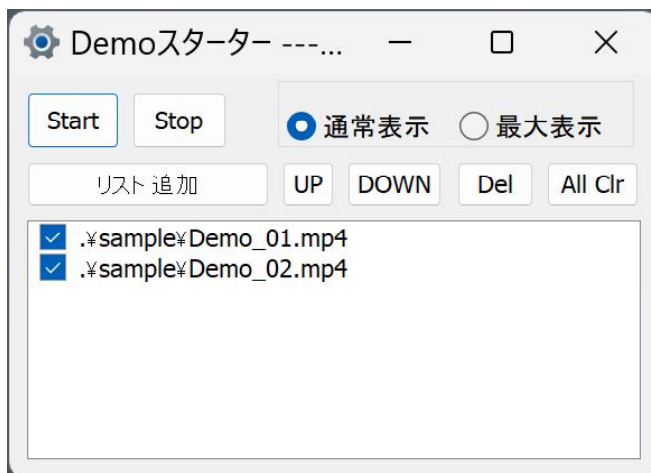
デモ環境を持ち運ぶ場合、登録ファイルパスは DmStarter.exe 保存場所からの相対パス設定にします。Config フォルダ内の「\$Demo_List.txt」ファイルを直接編集します。



絶対パスを相対パスに編集する



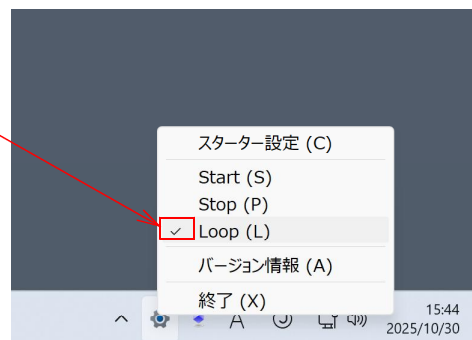
相対パスにすることによって、デモ環境セットを持ち運ぶことが可能になります。



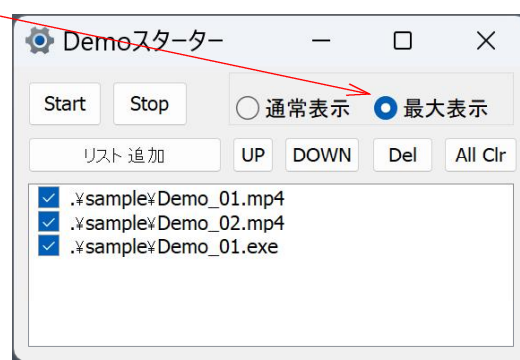
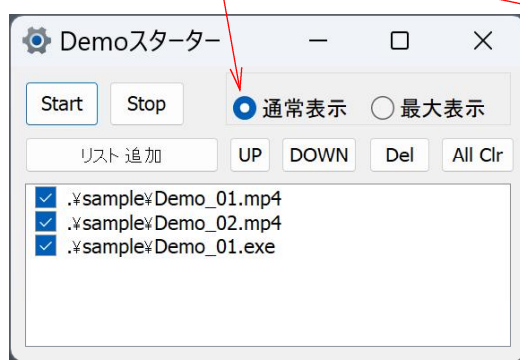
4. 使用方法

【コンテキストメニュー】

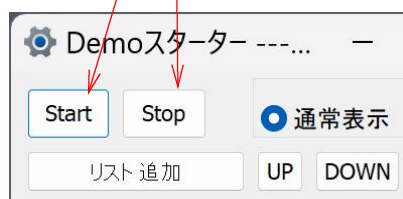
- ・繰り返し起動する場合は、Loop にチェックを入れます。



- ・プログラム起動状態を通常表示・最大表示のいずれかから選択します。



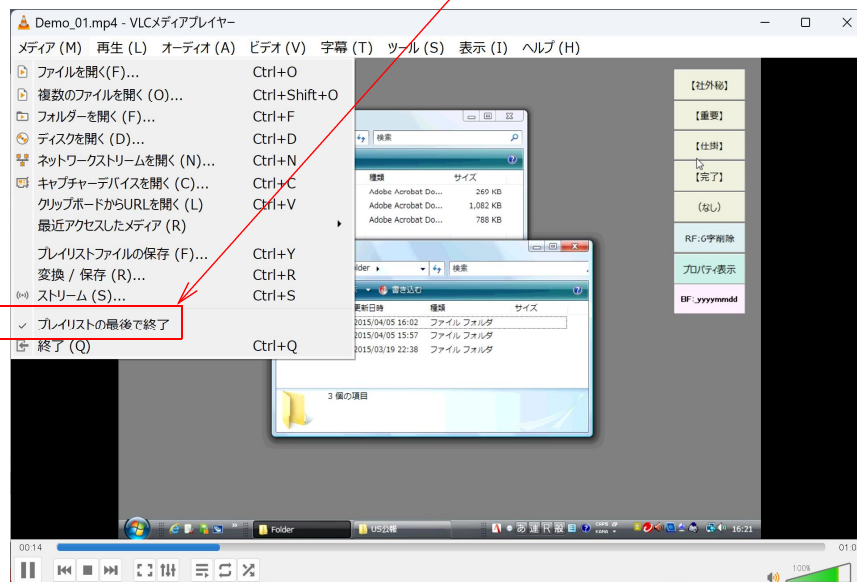
- ・デモ開始：Start をクリックします。
- ・デモ停止：Stop をクリックします。



5. メディアプレーヤの設定

Windows 標準搭載のメディアプレーヤは再生後終了ができないので、別途インストールした他のメディアプレーヤを使用します。

- ・ VLC media player を使用する場合、「プレイリストの最後で終了」にチェックします。



- ・ MPC-BE (Media Player Classic – Black Edition) を使用する場合、「再生(P)」→「再生終了後」→「毎回終了」を選択します。

